

2018年8月28日

関係各位、

一般財団法人日本製薬医学会
代表理事 岩本 和也
第19回国際製薬医学大会
大会長 今村 恭子
第9回日本製薬医学会年次大会
大会長 西馬 信一

「奨学寄附金がなくなるこれから、日本の臨床研究を考えませんか？」と題するビラに関する
注意喚起

今般、2018年8月25日に早稲田大学で行われたシンポジウム*において、一般財団法人日本製薬医学会（以下「当学会」といいます）の会員が、「奨学寄附金がなくなるこれから、日本の臨床研究を考えませんか？」と題するビラ（以下「本件ビラ」といいます）を配布した事実が確認されました。

本件ビラは、当該会員が、無断で当学会の名を語り配布したものであり、その内容及び配布に当学会が関与した事実はありません。また、本件ビラの内容は当学会の考えに沿うものではありません。

本件ビラは、本年9月に開催予定の第19回国際製薬医学大会・第9回日本製薬医学会年次大会に関連するものでもありません。

尚、当該会員については定款39条(1)に該当する行為があったため除名といたしました。

当学会は、「製薬医学専門家の知識、専門性およびスキルの向上を通して製薬医学を推進し、患者と社会のベネフィットのために医薬品へのアクセスと適正使用へと導くことにある」というビジョンとミッションを具現化すべく今後も様々な活動を行っていく予定です。引き続き皆様のご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

*：ワセダクロニクル 緊急シンポジウム「カネの流れは何を明らかにするのか：探査報道『製薬マネーと医師』」